

会長メッセージ

平成27年夏に、全国高等学校総合体育大会弓道大会が奈良県吉野町で行われることに決定しました。県の南部地域活性化の方針に対して、吉野町が立候補して開催されることになりました。吉野町では、大会に向けて、仮設ではなく、立派な弓道場を建てて、迎えてくれるということになりました。

連盟としても、インターハイの成功に協力すると共に、この施設を積極的に活用していきたいと思います。

また、南部地域の弓道人口の増えることを期待しております。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

◆ 第64回奈良県中学校総合体育大会弓道の部

- 1 日時 平成25年7月20日(土)
2 会場 橿原公苑弓道場
3 種目・種別 男・女 近的 団体戦及び個人戦 各人12射
4 参加規定
・団体戦は、各校男女あわせて11チーム以内とする。
・1チーム3名を原則とするが、2名でも団体扱いとする。
・1名での登録は個人扱いとする。
5 表彰 団体・個人とも、男女各3位まで表彰する。
優勝すれば全国大会へ出場できる県総体でした。
男子74名 女子98名の参加があり、結果は次の通りです。

<個人戦>

Table with 2 columns: 男子 and 女子. Lists winners and runners-up for individual events.

<団体戦>

Table with 2 columns: 男子 and 女子. Lists winners and runners-up for team events, including school names and members.

◆第9回近畿中学生弓道大会

日時:平成25年7月28日(日)
主催:近畿地域弓道連盟連合会
会場:大阪城弓道場
種目・種別:男女近的 個人戦および団体戦
近畿の21校(団体)、男子96名、女子94名参加

猛暑の中、大阪、京都、奈良、兵庫、滋賀の中学生が一堂に会し、近畿地域弓道連盟連合会の大堀会長の開会の挨拶で大会が始まった。本大会も第9回を数えることとなり、回を重ねるごとに、規模が大きくなってきている。発足当初は奈良県中体連が主管となって進めてきたが、ここ数年は各府県の先生方のご協力と奈弓連のご尽力のお陰もあり、実行委員会を立上げ、より「近畿大会」らしく、かつ、多くの近畿の中学生に参加して頂けるようになった。

来年度は第10回を迎えることもあり、この大会をより広く知って頂き、記念すべき大会にできればと考えています。

以下は、奈良県勢の大会結果。

[個人戦]

予選:8射5中以上で通過
決勝:射詰め競射

Table with 2 columns: 男子 and 女子. Lists winners and runners-up for individual events.

[団体戦]

予選:各人8射、チーム24射の総的中で上位4チームが通過
決勝:トーナメント方式

Table with 2 columns: 男子 and 女子. Lists winners and runners-up for team events.



(個人戦・団体戦での奈良県入賞者)



(中体連 藤原)

◆第10回全国中学生弓道大会

JOCジュニアオリンピックカップ

開催日：8月16日（金）～18日（日）

場 所：全日本弓道連盟中央道場

主 催：公益財団法人 全日本弓道連盟

47都道府県中、男子41団体、男子個人42名、女子41団体、女子個人43名の選手が参加した。前日の公開練習では、今年一と言われるほど暑さが厳しく、至誠館弓道場の改修工事の影響もあり、例年よりも練習会場が窮屈で、非常に調整の難しい大会でした。ここ数年、奈良県勢が全国で好成績を収めてきたこともあり、今年もと意気込んで臨んだ本戦ですが、残念ながら県勢が予選を通過することはできませんでした。多くの方々に応援・激励をして頂いたにも関わらず、非常に悔しい結果で終わってしまい残念です。この悔しさをばねに来年度、奈良県勢のリベンジを果たしたいです。

奈良県勢の結果は以下の通り。

<予 選>

女子個人 8射5中以上で通過

塚口萌々子（大成中2年）【予選通過ならず】

男子個人 8射6中以上で通過

山田拓真（香芝中2年）【予選通過ならず】

男子団体 各人8射 計24射の総的中上位16チーム通過  
天理南中（中井、山本、米川、井上）

【予選通過ならず】

女子団体 男子と同様

香芝中（吉岡、北井、芳倉、西）

【予選通過ならず】

（報告者：香芝中 藤原）

◆国体近畿ブロック大会報告（少年）

8月18日に国体近畿ブロック大会が橿原市の橿原公苑弓道場でおこなわれました。少年チームは男子監督高塚、コーチ澤隆明、女子監督澤一彦、コーチ川本のスタッフで、猛暑の中練習を積みました。橿原高校が男女とも団体で福岡インターハイに出場した関係から、全員が揃って練習を開始してから10日あまりで本番を迎えるという強化には厳しい日程でした。男子は、大前小西（橿原3年）、中立永島（法隆寺国際3年）、大落杉井（王寺工業3年）で臨みました。女子は、大前西川（橿原2年）、中立伊藤（橿原2年）、大落前田（高田商3年）のチームで大会に臨みました。小西、杉井、前田の3人は、昨年も候補選手でしたが、ブロック大会は初めての出場です。

午前の遠的は、男子が1回目に小西が皆中し9中と、2回目次第で上位がねられる位置につけました。

（右上へ）

（左下から）

その2回目は、永島と杉井が皆中し11中、合計20中で1位と狙い通りの位置につけました。女子は緊張からか西川が皆中するも1回目7中とやや苦しいスタートとなりました。続く2回目も振るわず4中、合計11中となり、6位で遠的を終えました。

午後からの近的では、男子が1回目永島が皆中し9中とまずまずのスタートでした。2回目は永島と杉井が皆中し11中、合計20中で近的1位タイとなり、総合1位で見事本国体出場を決めました。

一方の女子は、1回目で西川が皆中し10中と健闘しました。2回目は7中でしたが、合計17中で近的は2位でした。結局遠的での出遅れが響き、総合5位で本国体出場を逃しました。

結果としては、男女で明暗が分かれましたが、女子も体配も揃い、見事な射を見せてくれました。公開練習では好調であった遠的が振るわず、本国体を逃したことは大変残念ですが、4人の2年生がこの悔しさを来年につなげてくれることと思います。今年は例年にもまして暑い夏で、特に橿原のテニスコートでの遠的練習は選手たちにとって相当厳しいものであったはずですが、皆懸命に練習し、ブロック大会に臨んでくれました。また、男女ともチームワークがよく、男子控え選手の今西（王寺工3年）、清水（五條2年）、女子控え選手の東（法隆寺国際2年）、葎川（王寺工2年）も練習ではよきライバルとして競い合い、大会ではチームをしっかりサポートしてくれました。10月に行われる東京国体では、6年前の秋田国体（男子遠的2位、女子近的4位）、4年前の新潟国体（女子遠的2位）、3年前の千葉国体（女子遠的2位）、昨年の岐阜国体（女子近的2位、遠的4位）に続く入賞を目指し、頑張りたいと思います。

最後になりましたが、吉本会長をはじめ県弓道連盟の皆様には、練習や大会中に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

（高体連 澤）

◆第247回 地連審査

8月25日、県内に警報が発令される荒天の中、橿原公苑弓道場にて実施。

結果は、

級位申込み27名（5名欠席）

合格 1級9名 2級4名 3級8名

初段申込み112名（欠席2名） 合格 93名

弐段申込み4名 合格 0

参段申込み9名 合格 1名

四段申込み3名 合格 1名 大崎 徹（県医大）  
でした。

（審査部 明瀬）

## ◆全日・国体・ねんりんピック壮行射会

## +県トーナメント射会

日時：平成25年9月1日(日)  
場所：橿原公苑弓道場  
競技種目：団体(3人) 近的競技  
参加者：81人

標記各大会に参加される皆さんの健闘を祈念し、射会を実施しました。参加者は以下の皆さんです。

(敬称略)

- 全日本女子弓道選手権大会(9/20～伊勢市)  
東中千佳 白井礼子
- 全日本男子弓道選手権大会(9/22～伊勢市)  
藤岡 順 西浦範光
- 国民体育大会(9/29～小金井市)  
[少年男子]  
小西 健太郎 永島 大暉 杉井 邦彦  
[成年男子]  
新子 修平 辻本 元威 山口 亮二
- 全日本弓道遠的選手権大会(10/18～出雲市)  
男子 山本元祥 原田裕介  
女子 白井礼子 東中千佳
- ねんりんピック(10/26～高知市)  
森川 昭 斎藤文男 仲 佐江子  
能島美喜子 赤松順次

なお、射会の結果は

## ○予選通過チーム

- ・綿松 昭寛 中野 順平 西中 正 10中
- ・原田 祐介 奥田 章人 井戸上 博一 8中
- ・前川 彰吾 吉田 竜也 小西 三津雄 8中
- ・林 秀子 小野 温美 奥戸 由美 8中
- ・白井 礼子 東中 千佳 平井 摂子 6中
- ・清水 勝 上所 廣吉 西浦 範光 6中

国体選手(シード)

- [少年男子]小西 健太郎 永島 大暉 杉井 邦彦
- [成年男子]新子 修平 辻本 元威 山口 亮二

## ○決勝トーナメント

- 1位：原田 祐介 奥田 章人 井戸上 博一
- 2位：小西 健太郎 永島 大暉 杉井 邦彦
- 3位：前川 彰吾 吉田 竜也 小西 三津雄
- 新子 修平 辻本 元威 山口 亮二

(競技部)

## ◆高専弓道大会において奈良高専が

## 団体・個人とも優勝

H25年8月29日～30日の二日間の日程で、静岡県伊豆の国市狩野川リバーサイドパーク弓道場にて行われました第46回近畿・東海・北陸・信越地区高等専門学校弓道大会において、奈良高専が下記の通り結果を残すことができましたのでここに報告いたします。

「団体戦(男女混成)」

優勝 40中/60射

堀川悠一郎(4年)、池田裕一(3年)、能見哲道(3年)、布川昂典(3年)、谷本奈月(4年)

「個人戦(男女総合)」

優勝 池田裕一(3年) 11中/12射

準優勝 能見哲道(3年) 10中/12射

第四位 布川昂典(3年) 8中/12射(同中決定戦の結果)

射技優秀賞 遠近あすか(4年) 7中/12射

日頃の稽古においては、郡山市弓道協会の青木先生をはじめ奈弓連の諸先生方に「体配を大事に」という終始一貫したご指導を賜りました。5人立で行われました団体戦、競技の緊張感の中で、第一回戦で14中、第二回戦で13中、最終日の第三回戦においても13中と安定した的中を実現できたのは、大会に向けた稽古の中でも体配の大切さを学ぶことができたことが大きかったのではないかと考えております。射技優秀賞の受賞も、各種試合や練習会を通じた諸先生方よりのご指導の賜物と、部員・顧問教員一同深く感謝申し上げます。

全国高専弓道部の設置が過半数に達したことから、46年間にわたって行われてきました本大会は今大会をもって解消し、次年度より新たに各地区に分かれての地区大会、その優勝校が集っての全国高専弓道大会が実施される運びとなりました。引き続きの好成績を修めるべく、また、高専における弓道部活動のより一層の発展を目指して、部員一同稽古に励んでいく所存です。今後とも何卒ご高配のほどいただけますと幸いです。(奈良高専 谷口幸典)

## 編集後記

奈良盆地の稲穂も色付きはじめ、10月初旬の収穫を待つばかりになっています。台風の影響を受けることなく収穫したいものです。皆さんがこの「たより」を手にとられる頃には全日本選手権が開催され、その後には国体、遠的大会、ねんりんピックと全国大会が続きます。本県の代表として出場される皆さんの御健闘を祈念いたします。